



やまゆり

学校だより

令和5年10月24日
53号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標重点 「健やかな身体の育成」

県新人戦の「バドミントン部」と「野球部」の試合が行われました

10月21日(土)にバドミントンの県大会が南巨摩の鯉沢中学校体育館で開催されました。結果は、1回戦で敗れましたが、多くの成果がありました。

顧問の外川先生・鈴木先生によると、「1年生は、初めての県大会で試合に参加しながら、ルールや雰囲気慣れ、最後まであきらめずに試合をする事ができました。2年生は、試合の内容も向上し、相手のミスによる点ではなく、練習の成果を生かした攻撃で点を取ることが出来ました。今後は、この経験を生かし来春に向けてさらに礼儀や技能を向上させて行きたいと思えます。」とのことでした。

日々の練習を大切に、今後も努力を重ねてください。保護者の皆様の応援ありがとうございました。

2年生 ^{かこ} 圭胡さん・^{みよ} 三代さん



1年生 ^{ゆう} 優さん・^{かほ} 華帆さん



1年生 ^{たりほ} 垂穂さん



1年生 ^{めい} 愛維さん



全員の集合写真



野球部の県新人戦の様子

野球部は、10月22日(日)に南部町のアルカディア・野球場で準々決勝を行いました。メンバーが4名なので、都留第一中学校、都留第二中学校と合同チームで参加しました。1回戦は抽選によるシードで2回戦からの出場でした。楡形中学校との対戦の結果は、2対7で準決勝には進出できませんでした。

顧問の組谷先生・三浦先生によると、「道志中の4名のメンバーは全員スタメンで出場しました。初回表を先発輝さんの好投で0点に抑え、初回裏に先頭バッター輝さんのレフトへのエンタイトルツーベースで先制点を取りました。その後も再度、輝さんのヒットを足がかりに加点しました。守備でも好プレーを何度も見せ、点差以上に観客を感動させる試合でした。道志中の生徒は練習の成果を生かし、攻守に渡り、今までよりも成長した姿を見ることができました。しかし、課題もたくさん明らかになったので、今後も練習を頑張ります。」とのことでした。

保護者の皆様にも遠くまで応援来て下さり、ありがとうございました。

都留合同チームの集合写真



試合開始の整列



先発投手 ^{てる}輝さん 投打に渡り大活躍 2得点に大貢献!



^{はるま}サード陽万さんの守備



レフト ^{ろくた}祿太さん



ライト ^{ゆいと}結友さんの



10.18(水) 公開研究会後の生徒の「振り返りの会」の様子や意見

- ◎ 生徒一人一人が主体的に活性化しながら協働したことで、充実した様子で交流活動ができていた。
- ◎ 安心して、本音を異学年で伝えあい、改めて大切にすることと今後の方向性を確認できた。

生徒会長の話(景己さん)

国語の授業では、今まで行ってきた縦割り活動や異学年交流の成果が十分に発揮できた。特に、自分ではない視点を後輩からもらえたことにより、活性化したとても良い授業となった。

太鼓では、全校生徒一丸となって全力で最後の演奏をすることができて良かった。これからは、2年生中心で頑張してほしい。

生徒会担当(輝さん)

今日の国語の授業と太鼓の発表では一人一人が主体的に活動できましたか

縦割り(救命法の小グループ)での意見交換の一部

国語

陽万さん・・・気まずい時間も正直あったが、意見も出すように自分から進んできた。

千莉さん・・・グループでは読む時間を増やし、理解を深め、聞きたいことを質問できた。

佳太さん・・・ごんぎつねの構成・展開について、疑問に思っていたことを聞いたことでB評価に近づけた。

祿太さん・・・それぞれが考えを発展させた交流活動ができた。

瑛斗さん・・・異学年がバランス良く、意見を言ったり聞けたりすることができた。

太鼓

桜愛さん・・・太鼓に対して全力で臨めた。

圭胡さん・・・太鼓で一体感を味わえた。

雅也さん・・・ミスをしてしまったけれど、すぐに切り替えて叩くことができた。

全体共有の場

千莉さん・・・国語で沈黙や天野先生を待っている時間もあったが、その間にも別の意見についてグループで活性化して話し合うことができた。

太鼓では、間違えてしまうことがあったが、みんなで1つのものを創り出す気持ちですぐにリカバリーすることができて良かった。

佳太さん・・・国語を通して、異学年交流を深めることができた。分からないことをそのままにせず、天野先生にも質問して授業に臨めた。

太鼓では、全校の一員として1つになるために発表した。

紫龍さん・・・国語では、前日に校長先生が言っていた「何とかする」ことが自分たちででき、考えを深め交流することができた。沈黙がないようにグループで意見を活性化することができた。

太鼓では、一人一人が輝いていて、学年・全校ともにそれぞれ気持ちを込めて叩くことができた。

祿太さん・・・国語では沈黙がないように「何とかする」ことができた。今までできなかった、分からない点や疑問に思った点を天野先生や先輩に聞いて交流を深めることができた。

太鼓では、全力で叩くことができ、来てくれた人にも思いを伝えることができた。

脩大さん・・・国語では、自分たちで「何とかして」、構成・展開について考えることができて良かった。

太鼓では、準備・発表を3年生が引っ張ってくれて心強かった。3年生からのバトンを受け継いで頑張りたい。

圭胡さん・・・国語では、今まで分からなくて曖昧だったところがなくなり、グループでの雰囲気良くなった。

太鼓では、3年生にとって最後だったけれど、その場にふさわしい太鼓の演奏が全校でできて良かった。

生徒会担当(輝さん)

自分自身も国語や太鼓を通して、学校や全校でつくってきた安定をもとに、協働して全力でやることの大切さを改めて実感した。これからも、安定づくりを大切に、活性化して協働していきたい。

※文章のまとめ 鈴木ひろみ先生

公開研究会の振り返りを自分たちでする生徒



